～おうちのひとと いっしょによんでね～

# ひがしむらしょくいく 東村食育だより

福山市立東村小学校　保健室
2017年（平成29年）5月30日　第2号

老盛会の協力を得て，

## さつまいも栽培体験

　老盛会の方が耕してくださり，畑の土がフカフカになっているのに驚きました。「『耕す』ということは，土に空気をはらませること。それによって根が良く張るようになり，作物が良く育つ。」との説明がありました。

　3，4年生は見よう見まねでうねたてを体験し，マルチを張って芋づる（苗）を植える準備をしました。

見ていると簡単そうだけど，むずかしいのね。

### いも植え

　はるかに美味しい！と命名された**「紅はるか」というさつまいも**を大切に植えました。「元気で大きくなってね」と手を合わせ，声をかけました。

５，６年生　総合学習で

## 昔の農具を学ぶ

　**大村勝洋さんのご指導**で，かかしの里資料館を見学し，昔の農具と現在の農業機械を比較しながら学びを深めました。

　「米づくりが伝わって以来，人々は作業の効率化を考えて道具に工夫を凝らしてきました。どんな優れた機械も基本は昔の道具です。米は日本人の主食。それゆえ道具の開発にも力を注いだのです。」との話を聞きました。

昔から農家の人たちは農具を大切に扱ってきたんだよ。

田植えの前の

## モミの種まき

　５，６年生は苗床の種まきの見学に行きました。

　農家の方が共同購入された機械で毎年作業をされているとのことでした。

　いただいて帰ったモミ種は，天を突くがごとく元気よく発芽しました。田植えが楽しみです。

自動たねまき機

ローラーで苗床が移動し，自動で土やモミ種や水が次々出てくる，すぐれもの。

## 超ビックな玉ねぎ♪

　**「おうちでこんな大きな玉ねぎがとれたよ。」**と，杉原大遥君と由乃さんが持ってきてくれました。

　子どもの手より大きく，直径１５ｃｍ重さ６８０ｇもありました。

**市の図書館でこんな本にめぐり合いました。**

### 「いのちをむすぶ」

**佐藤　初女（はつめ）著（出版社：集英社）より**

**「食はいのち」**
**食はいのち。食材もまたいのち。**
**食は生活の基本です。**

**心が苦しみで詰まっている人はなかなか食べることができません。**
**それでもひとくち，ふたくちと食べ進み**
**“おいしい”と感じたとき，生きる力が湧いてきます。**
**おなかが満たされると，心の扉が開くのです。**
**自然に感謝の気持ちもわいてきて，人になにかしてさしあげたくなってきます。**

**食をおろそかにすると生活が乱れて**
**すべてのいのちに鈍感になります。**
**食を大切にする人は人をも大切にします。**

**「食育の基本は『体験』にある。」と本校では考えています。言葉で教え込むのではなく，体で感じ・気づき・発見させたいのです。**

**　本校の児童は「給食を残すともったいない。」と，よく口にします。地域の方のご協力，とりわけ「地産地消の考えに基づく給食」や「栽培体験」を通して，命のつながりを感じることができているのだと思います。**